JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業
ゲアン省にて「ニンニク栽培普及セミナー」を開催
— 高品質なニンニク栽培技術を地域へ伝え、生産から販売までの一連バリューチェーン構築を目指す —

2025 年 5 月 19 日
国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

JICA は、開発途上国が抱える社会・経済上の課題解決に貢献することを目的とした中小企業・SDGs ビジネス支援事業において、ファーマーズ協同組合（所在地：香川県善通寺市、以下「ファーマーズ」）から提案があった「ベトナム国ゲアン省さぬきニンニクのバリューチェーン構築に係る普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）（以下「本事業」）」を実施しています（実施期間：2023 年～2026 年）。

ファーマーズは香川県で培ってきた高品質なニンニク栽培のノウハウをもとに、ゲアン省の気候や土壌と適合し、香川県産と同等の品質を持つニンニクの栽培に成功しました。現在本事業では、雇用の創出や生計向上、地域産業の振興に資するために、さぬきニンニクの種子と青果の生産、その選別や加工試験及び流通・市場調査を通してさぬきニンニクの市場優位性を実証し、地域に適した普及方法を策定中です。

このたび本事業では、ゲアン省キーソン郡のナゴイ村第十青年団集会所にて、「ニンニク栽培普及セミナー」を 2025 年 5 月 17 日に開催しました。ニンニク栽培に関心を持つ農家約 60 名に対して栽培の実践に役立つ技術的な助言を行い、今後栽培を委託する先である農家の募集も行いました。この活動が将来的に本地域におけるニンニク栽培の拡大・振興につながっていくものと期待されます。

なお、ファーマーズは香川県において提携する農家による外国人技能実習生の受け入れを長年行っています。本事業にはゲアン省出身で日本の技能実習から帰国した還流人材が現地栽培指導員として参画しており、日本の高い栽培技術と知識を帰国後、地域に還元できる人材の育成も進めています。ゲアン省のなかでも、ラオスとの国境沿いに位置し、少数民族モン族が居住する山間地域では、焼き畑による農業形態では安定的な収入確保が難しく、多くの若者が出稼ぎに出ている状況にあります。こうした中で、ニンニク栽培が新たな地域産業として定着すれば、地元での雇用創出と生活安定につながるものと期待されています。本事業の参加者の中には、ニンニクに加えて野菜や果樹の栽培にも意欲を見せ

る農家もおり、地域における農業の多様化・高付加価値化への可能性も広がっています。

JICA は引き続き、地域との信頼関係を築きながら、持続可能で包摂的な農村振興モデルの構築を引き続き目指していきます。

お問い合わせ: JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005（内線 125）E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp